

みやぎの環境にやさしい農産物認証申請書

栽培指導者に提出した日を記入してください。

令和 ○年 ○月 ○日

宮城県知事 村井 嘉浩 殿

住所、氏名を記入してください。  
郵便番号、ふりがなも忘れずに記入してください。

〒 980 - 8570  
申請者 住 所 仙台市青葉区本町3丁目8-1  
(団体又は法人にあっては、代表者等の所在地)  
ふりがな みやぎ たろう  
氏 名 宮 城 太 郎  
(団体又は法人にあっては、名称及び代表者名)  
電話番号 022 (211) 2846  
FAX番号 022 (211) 2849

みやぎの環境にやさしい農産物認証・表示要綱第7第1項の規定により、関係書類を添えて申請します。

別記様式第1号の2（要領第3-2-(1)関係）記入例1

認証票の枚数を記載してください。

県のホームページ等に氏名、電話番号等の情報の掲載を希望する場合は○、希望しない場合は×

1 農産物の種類、認証区分等

ほ場番号	農産物の種類	認証区分番号	生産ほ場の所在地	栽培面積	品 種	出荷・販売予定数量	出荷単位	認証票			登録情報公開
								大	中	小	
1	米 (移植栽培)	①	〇〇市〇〇100	30 a	ひとめぼれ	1500 kg	30	0 枚	50 枚	0 枚	○
2	米 (移植栽培)	②	〇〇市〇〇101	40 a	ササニシキ	1500 kg	30	0 枚	50 枚	0 枚	○
3	米 (移植栽培)	③	〇〇市〇〇102	50 a	だて正夢	1500 kg	20	0 枚	30 枚	0 枚	○

要綱・要領に沿った品目名(米等)と栽培(移植栽培等)を記入。

- 農産物の種類の欄は品目と区分まで記載すること。
- 認証区分番号の欄は、次の農産物の番号①～④のいずれかを記入すること。
  - ①農薬・化学肥料不使用栽培農産物                      ②農薬不使用・化学肥料節減栽培農産物
  - ③農薬節減・化学肥料不使用栽培農産物                  ④農薬・化学肥料節減栽培農産物
- 登録情報の公開の欄は、公開を希望する場合には○印を、希望しない場合には×印を記入すること。
 

※「登録情報の公開」とは、県が消費者等へ認証登録者の氏名（団体又は法人にあっては名称）、連絡先の電話番号、農産物の種類及び認証区分を公開することをいう。

(注4) 生産ほ場が4筆以上になる場合、団体の場合は、「1 農産物の種類、認証区分等」を省略し別記様式第1号の3を添付すること。

(注5) 米、豆類、麦類は品種まで記載すること。

(注6) 出荷・販売予定数量は、別記様式第4号の出荷・販売量の合計と一致すること。なお、とう精申請する場合は、( )内にとう精する玄米数量を記入し、出荷単位、認証票使用枚数及び認証票の貼付方法の各欄は、とう精する玄米分を除いて記入すること。

2 経営の概要

・ 区分： 個人     法人     団体（該当するものに○をつける）

・ 団体における申請の合計生産者数 \_\_\_\_\_人

(注) 団体の場合は、別記様式第1号の4を添付すること。

経営区分に該当するものを○で囲んでください。  
団体の場合は申請の生産者の合計人数の合計も記載し、別記様式第1号の4を添付してください。

3 栽培指導者

氏 名	(団体名称及び代表者名) 〇〇農業協同組合 代表理事組合長 〇〇〇〇		
	(実務担当者所属及び氏名) △△営農センター △△△△		
郵便番号	〇〇〇-〇〇〇〇	住 所	□□市□□番地
電話番号	022(〇〇〇)〇〇〇〇		FAX 番号 022(〇〇〇)〇〇〇〇

(注) 現地確認契約書（別記様式第2号）2部、栽培計画（別記様式第3号）、生産ほ場位置図（別記様式第3号の2）及び出荷・販売計画（別記様式第4号）を添付すること。

栽培指導者は必ず申請者の栽培方法などを理解している方をお願いしてください。県から栽培計画の内容を聞くことがあります。

別記様式第1号の2（要領第3-2-(1)関係）記入例2

1 農産物の種類，認証区分等

ほ場番号	農産物の種類	認証区分番号	生産ほ場の所在地	栽培面積	品 種	出荷・販売予定数量	出荷単位	認証票			登録情報公開
								大	中	小	
1	米 (移植栽培)	④	別記様式1号の3のとおり	180 a	ひとめぼれ ササニシキ	1500 kg	別記様式1号の3のとおり	0枚	300枚	0枚	○
2								枚	枚	枚	
3								枚	枚	枚	

4筆以上になる場合や団体で取り組む名合は「別記様式1号のとおり」と記入し、様式1号の3をつけてください。栽培面積欄は合計、品種はすべて記入してください。

- (注1) 農産物の種類の欄は品目と区分まで記載すること。
- (注2) 認証区分番号の欄は、次の農産物の番号①～④のいずれかを記入すること。
  - ①農薬・化学肥料不使用栽培農産物
  - ②農薬不使用・化学肥料節減栽培農産物
  - ③農薬節減・化学肥料不使用栽培農産物
  - ④農薬・化学肥料節減栽培農産物
- (注3) 登録情報の公開の欄は、公開を希望する場合には○印を、希望しない場合には×印を記入すること。
  - ※「登録情報の公開」とは、県が消費者等へ認証登録者の氏名（団体又は法人にあっては名称）、連絡先の電話番号、農産物の種類及び認証区分を公開することをいう。
- (注4) 生産ほ場が4筆以上になる場合、団体の場合は、「1 農産物の種類，認証区分等」を省略し別記様式第1号の3を添付すること。
- (注5) 米，豆類，麦類は品種まで記載すること。
- (注6) 出荷・販売予定数量は、別記様式第4号の出荷・販売量の合計と一致すること。なお、とう精申請する場合は、（ ）内にとう精する玄米数量を記入し、出荷単位，認証票使用枚数及び認証票の貼付方法の各欄は、とう精する玄米分を除いて記入すること。

2 経営の概要

・ 区分： 個人 ・ 法人 団体 (該当するものに○をつける)

・ 団体における申請の合計生産者数 5 人  
(注) 団体の場合は、別記様式第1号の4を添付すること。

経営区分に該当するものを○で囲んでください。団体の場合は申請の生産者の合計人数の合計も記載し、別記様式第1号の4を添付してください。

3 栽培指導者

氏 名	(団体名称及び代表者名) ○○農業協同組合 代表理事組合長 ○○○○			
	(実務担当者所属及び氏名) △△営農センター △△△△			
郵便番号	○○○-○○○○	住 所	□□市□□番地	
電話番号	022(○○○)○○○○		FAX 番号	022(○○○)○○○○

(注) 現地確認契約書（別記様式第2号）2部，栽培計画（別記様式第3号），生産ほ場位置図（別記様式第3号の2）及び出荷・販売計画（別記様式第4号）を添付すること。

栽培指導者は必ず申請者の栽培方法などを理解している方をお願いしてください。県から栽培計画の内容を聞くことがあります。

### (別記様式第1号の3) 記入例

- 1 農産物の種類 米(移植栽培)
- 2 認証区分番号 ④
- 3 登録情報の公開 希望する・希望しない
- 4 生産者名等

品種と栽培面積は、別記様式第3号及び別記様式第4号と一致するかご確認下さい。

ほ場番号	生産者名	生産ほ場の所在地	栽培面積	品種	出荷・販売 予定数量	出荷 単位	認証票の 使用枚数		
							大	中	小
1	宮城太郎	◇◇市〇〇字100	30	ひとめ ぼれ	1500	30		50	
2	〃	◇◇市〇〇字101	30	ササニ シキ	1500	30		50	
3	仙台次郎	◇◇市〇〇字200	30	ササニ シキ	1500	30		50	
4	〃	◇◇市〇〇字201	30	ひとめ ぼれ	1500	30		50	
5	青葉三郎	◇◇市〇〇字300	30	ひとめ ぼれ	1500	30		50	
6	〃	◇◇市〇〇字301	30	ひとめ ぼれ	1500	30		50	
ほ場番号は、別記様式第3号及び別記様式第3号の2と一致するかご確認下さい。		合計も忘れずに記入しましょう。							
計	3人		180 a		9,000 kg		枚	枚 300	枚

(注1) 農産物の種類の欄は品目と区分まで記載すること。

(注2) 認証区分番号の欄は、次の農産物の番号①～④のいずれかを記入すること。

- ①農薬・化学肥料不使用栽培農産物      ②農薬不使用・化学肥料節減栽培農産物  
③農薬節減・化学肥料不使用栽培農産物      ④農薬・化学肥料節減栽培農産物

(注3) 登録情報の公開の欄は、いずれか一方を○で囲むこと。

※「登録情報の公開」とは、県が消費者等へ認証登録者の氏名(団体又は法人にあっては名称)、連絡先の電話番号、農産物の種類及び認証区分を公開することをいう。

(注4) 農産物の種類、作型及び認証区分が異なる場合は、別葉とすること。

(注5) 米、豆類、麦類は品種まで記載すること。

(注6) 出荷単位は、量目及び荷造方法を記入すること。

(注7) 出荷・販売予定数量は、別記様式第4号の出荷・販売量の合計と一致すること。なお、とう精申請する場合は、( )内にとう精する玄米数量を記入し、出荷単位、認証票使用枚数及び認証票の貼付方法の各欄は、とう精する玄米分を除いて記入すること。

別記様式第1号の4 記入例

団体生産者一覧

団体名	〇〇〇〇
合計生産者数(人)	5 人

合計生産者数と下の表の人数が一致すること。  
別記様式第1号の2の2. 経営概要の合計生産者数と一致すること。

要綱・要領に沿った品目名(米等)と栽培(移植栽培等)と区分(①~④のいずれか)を記載する。

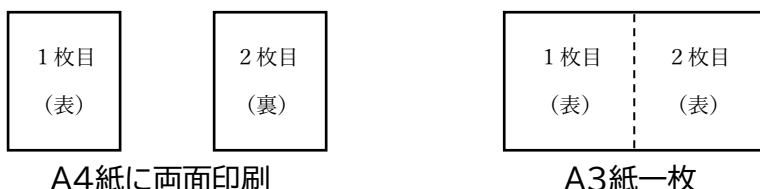
No.	生産者名	農産物の種類・区分				備考
		米(移植栽培)区分①	米(移植栽培)区分②	米(移植栽培)区分③	米(移植栽培)区分④	
1	〇〇〇〇	○				
2	△△△△		○			
3	□□□□		○	○	○	取り組む品目と区分に○をつける。
4	◇◇◇◇				○	
5	××××				○	
6						
7	生産者すべての氏名を記載する。					
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18	欄が足りない場合は、適宜、行と列を追加して作成してください。					
19						
20						

(注) 品目及び区分を記入し、取り組み予定者に○をつける。

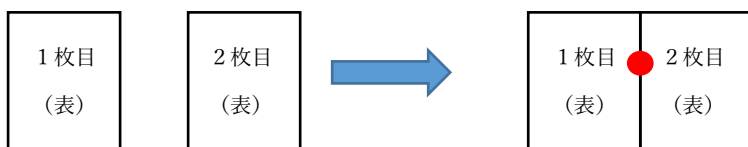
別記様式第2号 記入例

様式2号は、同じ書類を2部作成し、2部とも提出してください。

この書類は、できるだけ A4 紙に両面印刷または、A3 紙で一枚の紙に印刷してください。



もし、A4 紙2枚に印刷する場合は、2枚の紙に半部ずつまたがるように印鑑を押してください。  
(ホチキス止め、のり付けはしないでください)



※農産物ごとに契約書を作成してください。

記入例(一枚目) 別記様式第2号(要領第3-2-(2)、13関係)

現 地 確 認 契 約 書

委託業務名 令和〇年みやぎの環境にやさしい農産物現地確認業務  
 履 行 期 間 認証申請した農産物の播種等から収穫開始までの期間内  
 金 額 金 円

金額は記入しないでください  
(県で記入します)

認証申請者等 宮城太郎 (以下「発注者」という。)と確認行為を行う宮城県(以下「受注者」という。)  
 とは、令和〇年みやぎの環境にやさしい農産物現地確認(以下「現地確認」という。)の業務について、次の条項により契約を締結する。

名前と年を記入

(総則)

第1条 受注者は、次の農産物の生産計画について、頭書の金額で、頭書の履行期間中に現地確認の業務を完了するものとする。

農産物を記入してください。  
農産物:米, 麦類, 豆類, 野菜, 果樹

生産圃場が数筆にわたる場合は、主要な番地と他と記入してください。

1 農産物	米		
生産ほ場の所在地	〇〇市〇〇〇	他	
3 播種等予定日	〇年 〇月 〇日	4 収穫開始予定日	〇年 〇月 〇日

## 記入例(2枚目)

### (支払等)

- 第5条 発注者は、現地確認で要する経費を受注者の発行する納入通知書により、納入通知書に定める期日までに支払うものとする。
- 2 前条に規定する生産中止が、現地確認を実施する以前のときは、発注者と受注者が協議により合意した上、受注者は、契約を解約し、発注者に納入金を返納するものとする。
- 3 前条に規定する生産中止が、現地確認を実施した後のときは、受注者は、発注者に納入金を返納しないものとする。

### (契約の解除)

- 第6条 発注者は、受注者の責めに帰する理由により、履行期間内に現地確認を完了することができないと認めるとき又は受注者が不完全な履行をしたときは、この契約を解除することができるものとする。
- 2 受注者は、前条第1項の規定による支払が行われなときは、この契約を解除することができるものとする。

### (その他)

- 第7条 この契約に定めない事項又は疑義が生じたときは、その都度発注者と受注者が協議して決めるものとする。

この契約を証するために、本書2通を作成し、発注者と受注者が記名押印の上、各自その1通を所持するものとする。

この年月日は記入しないでください。  
修正液不可。  
(県で記入します)

年 月 日

発注者 住所 仙台市青葉区本町3丁目8-1

氏名 宮城 太郎

宮城

住所・氏名を記入し、  
印鑑を押してください。

受注者 宮城県知事 村井 嘉浩

印

## 注意

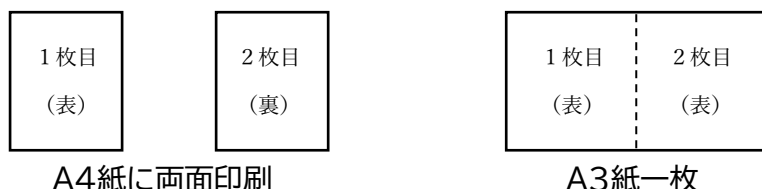
法人や団体の申請の場合、印は「〇〇株式会社代表取締役之印」「△△生産組合長之印」等といった組織の代表が明記された印、もしくは代表者個人の印鑑を押印してください。

「〇〇株式会社之印」「△△生産組合印」等の団体名のための印は適用外。

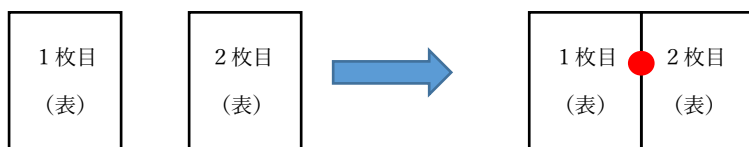
別記様式第2号の2 記入例

様式2号の2は、同じ書類を2部作成し、2部とも提出してください。

この書類は、できるだけ A4 紙に両面印刷または、A3 紙で一枚の紙に印刷してください。



もし、A4 紙2枚に印刷する場合は、2枚の紙に半部ずつまたがるように印鑑を押してください。  
(ホチキス止め、のり付けはしないでください)



※農産物ごとに契約書を作成してください。

記入例(一枚目)

別記様式第2号の2 (要領第4-1-(2), 13関係)

現 地 確 認 契 約 書

委託業務名 令和〇年みやぎの環境にやさしい農産物現地確認業務  
 履 行 期 間 とう精登録された玄米のとう精開始からとう精終了までの期間内  
 金 額 金 円

金額は記入しないでください  
(県で記入します)

とう精登録者等 宮城 太郎 (以下「発注者」という。)と確認行為を行う宮城県 (以下「受注者」  
 とする)とは、令和〇年みやぎの環境にやさしい農産物現地確認 (以下「現地確認」という。)の業  
 務について、次の条項により契約を締結する。

名前と年を記

(総則)

第1条 受注者は、次のとう精計画について、頭書の金額で、頭書の履行期間中に現地確認の業務を完  
 するものとする。

1 とう精施設の所在地及び所有者名 (連絡先)	
〇〇市〇〇〇 宮城 太郎	
申請者本人所有	
とう精開始予定日 〇年 〇月 〇日	3 とう精終了予定日 〇年 〇月 〇日

委託先の場合は、  
(株)〇〇〇所有(TEL)  
を記入してください

とう精する施設の住  
所、施設の所有者、開  
始予定日、終了予定  
日を記入してくださ  
い。  
とう精施設が2か所  
ある場合でも省略せ  
ず記入してください。



## 記入例(2枚目)

### (支払等)

第5条 発注者は、現地確認で要する経費を受注者の発行する納入通知書により、納入通知書に定める期日までに支払うものとする。

2 前条に規定するとう精中止が、現地確認を実施する以前のときは、受注者と発注者が協議により合意した上、受注者は、契約を解約し、発注者に納入金を返納するものとする。

3 前条に規定するとう精中止が、現地確認を実施した後のときは、受注者は、発注者に納入金を返納しないものとする。

### (契約の解除)

第6条 発注者は、受注者の責めに帰する理由により、履行期間内に現地確認を完了することができないと認めたとき又は受注者が不完全な履行をしたときは、この契約を解除することができるものとする。

2 受注者は、前条第1項の規定による支払が行われないときは、この契約を解除することができるものとする。

### (その他)

第7条 この契約に定めない事項又は疑義が生じたときは、その都度発注者と受注者が協議して決めるものとする。

この契約を証するために、本書2通を作成し、発注者と受注者が記名押印の上、各自その1通を所持するものとする。

ここの年月日は記入しないでください。修正液不可。(県で記入します)

年 月 日

発注者 住所 仙台市青葉区本町3丁目8-1

氏名 宮城 太郎

宮城

住所・氏名を記入し、印鑑を押してください。

受注者 宮城県知事 村井 嘉浩 印

## 注意

法人や団体の申請の場合、印は「〇〇株式会社代表取締役之印」「△△生産組合長之印」等といった組織の代表が明記された印、もしくは代表者個人の印鑑を押印してください。

「〇〇株式会社之印」「△△生産組合印」等の団体名のみ印は適用外。

認証申請時の記載例

栽培指導者へ提出前にコピーをとっておいて下さい！

別記様式第3号 (要領第3-2-(2),3-7-(2),5-3-(2),10-4,15-2関係)

××年 みやぎの環境にやさしい農産物認証・表示制度栽培計画(記録)																				
生産者		認証区分	農産物の種類		品 種	ほ場番号	ほ場数	栽培者数	栽培面積	認証申請番号										
氏名 けやき生産組合 組合長 宮城 太郎		④	米 (移植栽培)		ひとめぼれ ササニシキ	1~10	10	3人	180a	必ず a で記										
作業内容		資 材																		
作業名		作業時期		資 材 名			化学肥料(窒素成分)		使用量		使用時期		農 薬 名		希釈倍率	成分数	使用量		使用時期	
		計画 実績					含有率(%) 成分量(kg)		(kg/10a)		計画 実績				(倍)		(/10a)		計画 実績	
塩水選		2月下旬		<育苗>									△△△液剤10		500	2	500ml/箱 ×20箱		4月中旬	
温湯種子消毒(63℃5分)		2月下旬		△□無肥料培土			0		80		4月上旬		○○○箱粒剤			2	50g/箱 ×20箱		5月上旬	
耕起・たい肥散布		3月上旬		○○○肥料			10		0.04		4月上旬		◇◇◇1キロ粒剤75			3	1kg		5月上旬	
浸種		3月上旬		使用床土・覆土は必ず記入。山土や田んぼの土の場合はその旨を記入。					(20g/箱×20箱)				▽▽▽粉剤DL			1	3kg		8月中旬	
催芽, 播種, 育苗		4月上旬																		
基肥散布		4月上旬		牛ふんたい肥			0		1000											
代かき		4月中旬		△△有機2号			3.52		1.408		40									
いもち初期害虫防除		5月上旬		有機入り化成肥料の場合は化学合成窒素の成分率を記入。																
田植え		5月上旬		□□化成			16		0.8		5		7月上旬							
除草剤散布		5月上旬																		
中干し		6月下旬																		
追肥散布		7月上旬		認証基準値を記載する。米の場合は、認証区分①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩のいずれかを記入。																
カメムシ防除		8月中旬																		
収穫		10月下旬																		
育苗期間の栽培環境について		露地	施設	化学肥料の合計施用量(窒素成分量 kg/10a)			基準 3.5 kg	計画 2.24 kg	認証時* kg	実績 kg	節減対象農薬の延べ有効成分数		基準 成分 8	計画 成分 8	認証時* 成分	実績 成分				
定植後の栽培環境について		露地	施設																	
(いずれかに○印を記入) ↑		↓記入者チェック欄(有・無いいずれかに○印を記入)			↑認証時*欄には、計画変更の場合、現地確認時までの使用実績、それ以降の計画分を加えた数値を記載。計画変更がない場合は、空欄とし実績報告時に実績欄に記載する。															
その他使用資材		使用量 (/10a)	使用時期		□ 種子・苗の消毒 (有・無) 必ずいずれかに○を付す。			指導者			栽培指導者現地確認欄			県機関記入欄 (収受印)						
○×▽液			計画 実績		方法や農薬名を栽培計画(記録)に記載。			氏名 米田 豊作			計画時期 5月上旬			<栽培指導者> 現地確認の予定時期を必ず記入。						
					□ 予定にない肥料・農薬・資材の使用(現地確認時)			電話 ○○○-○○○-××××			実績年月日 6月中旬									
					有・無 使用資材の欄に赤字で記載			住所 確認責任者			8月中旬									
全収穫量		kg	全出荷量					氏名			栽培指導者受領確認欄 (受領年月日)									
7800			7400					電話			××年1月10日									
10a当たり収穫量		kg	10a当たり出荷量					住所												
433			411					氏名												
								電話												

認証申請時の記載例

栽培指導者へ提出前にコピーをとっておいて下さい！

別記様式第3号 (要領第3-2-(2),3-7-(2),5-3-(2),10-4,15-2関係)

××年 みやぎの環境にやさしい農産物認証・表示制度栽培計画(記録)

生産者	認証区分	農産物の種類	品 種	ほ場番号	ほ場数	栽培者数	栽培面積	認証申請番号
氏名 宮城 太郎	④	きゅうり (ハウス促成)	ニーナZ	1	1	1人	10a	

必ず a で記

作業名	作業時期		資 材 名	化学肥料(窒素成分)		使用量 (kg/10a)	使用時期		農 薬 名	希釈倍率 (倍)	成分数	使用量 (/10a)	使用時期	
	計画	実績		含有率(%)	成分量(kg)		計画	実績					計画	実績
施肥・堆肥施用	12月中旬		<基肥>						△△△粒剤		1		1月中旬	
耕耘	12月中旬		牛ふんたい肥	0	0	1000	3月上旬		〇〇〇		1		1月中旬	
購入苗	1月中旬		△△有機2号	3.52	1.408	40	4月上旬		◇◇◇水溶剤		1	200l	2月中旬	
定植	1月中旬								▽▽▽顆粒水和剤		1	200l	3月中旬	
つる上げ	2月中旬		<追肥>						△△△粒剤		1	200l	3月中旬	
病虫害防除	1月中旬		□□化成	16	8	50	2月下旬		〇〇〇		1	200l	4月中旬	
	~5月下旬						~6月中旬		◇◇◇水溶剤		1	200l	4月下旬	
追肥	2月下旬		<購入苗>						▽▽▽		1	200l	5月上旬	
	~6月中旬		△□培土	0.4	1.12	280					1	200l	5月下旬	
収穫	2月下旬		〇〇土	0	0	140								
	~6月下旬													

区分を記入。

栽培様式が同一の場合は複数品種を記入。

認証申請書(別記様式第1号の2または3)記載のほ場番号を記入。

月旬を記入。収穫期間が長期にわたる場合には、その期間を記入。

有機入り化成肥料の場合は化学合成窒素の成分率を記入。

農薬名は略さず正確に！

合計値を記入。

※肥料・農薬を使用しない場合は使用資材欄に<使用しない>など明記する。

合計値を記入。

小数点第2位まで(第3位以下は切り上げ)

購入苗の場合でも使用床土・覆土は必ず記入。山土や田んぼの土の場合はその旨を記入。

直播の場合、「育苗期間の栽培環境」欄の記入は不要。

認証基準値を記載する。

認証基準値を記載する。

育苗期間の栽培環境について	露地	施設	化学肥料の合計施用量(窒素成分量 kg/10a)	基準 20 kg	計画 10.53 kg	認証時* kg	実績 kg	節減対象農薬の延べ有効成分数	基準 成分 16	計画 成分 9	認証時* 成分	実績 成分
---------------	----	----	--------------------------	----------	-------------	---------	-------	----------------	----------	---------	---------	-------

(いずれかに○印を記入)↑

↓記入者チェック欄(有・無いずれかに○印を記入)

↑認証時\*欄には、計画変更の場合、現地確認時までの使用実績、それ以降の計画分を加えた数値を記載。計画変更がない場合は、空欄とし実績報告時に実績欄に記載する。

その他使用資材	使用量(/10a)	使用時期
○×▽液		計画 実績
全収穫量	kg 12000	全出荷量 kg 11000
10a当たり収穫量	kg 12000	10a当たり出荷量 kg 11000

肥料、農薬以外のものは「その他使用資材」欄へ記入。

忘れずに記入。

認証申請時には記入しない。

- 種子・苗の消毒
- 有・無 方法や農薬名を栽培計画(記録)に記載。
- 予定にない肥料・農薬・資材の使用(現地確認時)
- 有・無 使用資材の欄に赤字で記載。

必ずいずれかに○を付す。

指導者	住所
山形県○○市○○町△△番	△△宮農センター
氏名 野田 豊作	
電話 〇〇〇-〇〇〇-××××	
確認責任者	
住所	
氏名	
電話	

栽培指導者が本書類を受領した年月日を記入の上、押印する。

栽培指導者現地確認欄	計画時期	実績年月日
	1月中旬	
	2月中旬	
栽培指導者受領確認欄 (受領年月日)	××年1月10日	

<栽培指導者> 現地確認の予定時期を必ず記入。

県機関記入欄 (収受印)
--------------

(別記様式第3号の2) 記入例

別記様式第3号の2 (要領第3-2-(2), 3-7-(2), 5-3-(2) 関係)

生産ほ場位置図

生産者	宮城太郎	農産物の種類	米 (移植栽培)	認証区分番号	④
ほ場所在地	◇◇市〇〇字◇100, 101, 102, 103				



- 地図の写し等を用いて、ほ場位置が正確に分かるようにしてください。もし、やむを得ず地図が用意できない場合に限り手書きでもよいですが、生産ほ場の位置が確実に把握できるように記入してください。

(別記様式第4号) 記入例1<米の場合>

別記様式第4号(要領第3-2-(2), 3-7-(2), 5-3-(2), 10-4, 15-2関係)  
 ××年出荷・販売計画(記録)

農産物の種類	米(移植栽培)	生産者	栽培指導者	確認責任者	受領確認欄
認証申請番号		氏名 宮城太郎	住所 氏名 電話	住所 氏名 電話	栽培指導者 月 日
ほ場番号	1~4				

認証票の枚数は別記様式第1号の2と一致させてください。

品種別 収穫面積	出荷・販売 年月日	形態別出荷・販売数量								出荷・販売先	出荷・販売量 (kg) ①~④計	収穫量 (kg)	認証票の枚数 使用枚数 (枚)			
		バラ (kg) ①	束 (kg) ②	袋 (kg) ③	箱 (kg) ④	規格又は等級別数量(箱, 袋等包装数量)							大	中	小	
						30kg	3kg									計
(品種名) a ひとめぼれ 100 a	×年10月~			3,600		120				120	J A O O O O	3,600	3,800	120		
				300				100		100	〇〇道の駅	300	400			100
											自家とう精 (とう精申請)	(1,700)	1,700			
											<ひとめぼれ計>					
ササニシキ 80 a	×年10月~			1,800		60				60	直接販売					
											<ササニシキ計>					
	計			5,700		180		100		280	—	7,400	7,800	180		100

「道の駅」「直売」と省略しないで、その名前も記入

自家とう精をする場合は「自家とう精」と記入  
 別途とう精申請をする場合は「(とう精申請)」と記入  
 とう精に使用する分の認証票はとう精申請時に申請するので、認証申請時は空欄です。

※品種別・収穫面積の欄は、米、麦類、豆類については品種別に記入し、野菜、果樹については品種別の記載は不要とする。

(別記様式第4号) 記入例2<野菜の場合>

別記様式第4号 (要領第3-2-(2), 3-7-(2), 5-3-(2), 10-4, 15-2関係)  
 ××年出荷・販売計画(記録)

農産物の種類	ほうれんそう	生産者	栽培指導者	確認責任者	受領確認欄
認証申請番号		氏名 宮城太郎	住所 氏名 電話	住所 氏名 電話	栽培指導者 月 日
ほ場番号	1, 2				

品種別 収穫面積	出荷・販売 年月日	形態別出荷・販売数量								出荷・販売先	出荷・販売量 (kg) ①~④計	収穫量 (kg)	認証票の 使用枚数 (枚)			
		バラ (kg) ①	束 (kg) ②	袋 (kg) ③	箱 (kg) ④	規格又は等級別数量(箱, 袋等包装数量)							大	中	小	
						200g										計
(品種名) a  延面積 20a 実面積 5a	×年6月上旬			390		1,950				1,950	JA〇〇〇〇	195	203			975
											△△直売所	195	203			975
	×年7月中旬			300		1,500				1,500	JA〇〇〇〇	150	157			750
											△△直売所	150	157			800
																(200g袋に750, 箱に50枚)
	×年8月下旬			390		1,500				1,500	JA〇〇〇〇					750
											△△直売所					750
	×年10月下旬			390		1,950				1,950	JA〇〇〇〇	195	203			975
										△△直売所	195	203			975	
計			1,380		6,900				6,900	—	1,380	1,440			6,900	

形態別出荷・販売数量以上の  
 認証票が必要な場合は、  
 数字の内訳を記入

「道の駅」「直売」と省略  
 しないで、その名前も記入

別記様式第7号（要領第4-1-(1)関係）記入例

みやぎの環境にやさしい農産物とう精申請書

〇〇年 〇月 〇日

宮城県知事 村井 嘉浩 殿

住所、氏名を記入してください。  
郵便番号、ふりがなも忘れずに記入してください。

〒 980 - 8570  
申請者 住 所 仙台市青葉区本町3丁目8-1  
(団体又は法人にあつては、代表者等の所在地)  
ふりがな ゆうげんがいしゃ しょくざいおうこく  
氏 名 有限会社 食材王国  
(団体又は法人にあつては、名称及び代表者名)  
電話番号 022(211)2846  
FAX番号 022(211)2849

みやぎの環境にやさしい農産物認証・表示要綱第8第1項の規定により、関係書類を添えて申請します。

別記様式第7号の2（要領第4-1-(1)関係）記入例

玄米購入先等

玄米認証登録番号	認証区分番号	玄米購入先	玄米購入先住所	玄米購入数量	とう精情報の公開
××認〇 〇〇	④	仙台 次郎	△△町□□	10,000 kg	○

認証登録番号を記入してください。

自家とう精の場合は、玄米購入先欄に「自家とう精」と記入してください。玄米購入先住所は記載不要です。

精米販売数量	包装単位	販売個数	認証票の使用枚数				とう精開始予定日	とう精終了予定日
			大	中	小	計		
9,000 kg	5 kg	1,800 個	0 枚	1,800 枚	0 枚	1,800 枚	××年 10月1日	××年 7月20日
							月 日	月 日
							日	月 日

認証票の使用枚数は、別記様式第8号と一致するか確認してください。

(別記様式第8号) 記入例

別記様式第8号 (要領第4-1-(2), 5-3-(2), 10-4, 15-3関係)

××年とう精計画 (記録)

品種ごとに提出

玄米認証登録番号	××認○○○○○○○	認証区分番号	④
とう精申請者 (とう精登録者)		玄米購入先	
氏名 有限会社 食材王国 代表取締役 環境太郎		住所 氏名 電話 <i>玄米購入先を記入してください 自家とう精の場合は、 「自家とう精」と記入してください</i>	
とう精施設所在地		確認責任者	
所在地 所有者 連絡先 <i>産地市町村名, 品種名を 正しく記入してください</i>		住所 氏名 電話 確認年月日 月 日 印 月 日 印	
産地	△△町	品種	ササニシキ

年月日	検査 等級	玄米 残 数量 kg	玄米 買受 数量 kg	玄米 使用 数量 kg	精米 生産 数量 kg	歩留 %	精米量目別生産数量 (個)					認証票の使用枚数 (枚)				
							kg	kg	kg	kg	kg	大	中	小		
××. 9. 30			10000													
××. 10. 1		9,000		1,000	900	90	180								180	
××. 11. 1		8,000		1,000	900	90	180								180	
××. 12. 1		7,000		1,000	900	90	180								180	
××. 1. 20		6,000		1,000	900	90	180								180	
××. 2. 20		5,000		1,000	900	90	180								180	
××. 3. 20		4,000		1,000	900	90	180								180	
××. 4. 20		3,000		1,000	900	90	180								180	
××. 5. 20		2,000		1,000	900	90	180								180	
××. 6. 20		1,000		1,000	900	90	180								180	
××. 7. 20		0		1,000	900	90	180								180	
計	—	0	10000	10000	9000	—	1800								1800	

買い受けた玄米の使用状況が時系列で分かるように記入してください

それぞれの合計数値が様式第7号2の数値と一致するかご確認下さい。



みやぎの環境にやさしい農産物認証申請変更（生産中止）申請書

○年 ○月 ○日

宮城県知事 村井 嘉浩 殿

〒 980 - 8570

申請者 住 所 仙台市青葉区本町3丁目8-1

(団体又は法人にあっては、代表者等の所在地)

ふりがな みやぎ たろう

氏 名 宮 城 太 郎

(団体又は法人にあっては、名称及び代表者名)

電話番号 022(211)2846

FAX番号 022(211)2849

令和○年 ○月 ○日付けで認証申請した内容を下記のとおり変更（生産中止）したいので、みやぎの環境にやさしい農産物認証・表示要綱第7第2項の規定により、関係書類を添えて申請します。

記

認証申請番号	農産物の種類	変更項目	変更前	変更後	変更理由
○申△△	米 (移植栽培)	面積	30a	50a	規模拡大のため
		品種	ササニシキ	ひとめぼれ	苗が不足したため

変更する項目ごとに  
分けて記入してくだ  
さい。

提出済みの申請書の  
内容を変更前の欄に  
記入してください。

変更する予定の内容  
を、変更後の欄に記  
入してください。

(注1) 生産を中止する場合は、変更内容欄に「生産中止」と記載し、変更理由欄に中止理由を記入すること。関係書類の添付は必要としない。

(注2) 該当書類を添付すること。

(注3) 生産ほ場を変更する場合には、生産ほ場位置図（別記様式第3号の2）も添付すること。

変更のある該当書類を朱書きして添付してください。

みやぎの環境にやさしい農産物認証票作成依頼書

○年 ○月 ○日

株式会社 スズキ 殿  
（指定印刷業者）

認証票や旗の注文は、株式会社スズキに FAX または郵送で行ってください。  
<注文先>  
株式会社スズキ  
〒984-0011  
仙台市若林区六丁の目西町3-6  
FAX:022-288-8623

980 - 8570  
住 所 仙台市青葉区本町3丁目8-1  
（団体又は法人にあつては、代表者等の所在地）  
ふりがな みやぎ たろう  
氏 名 宮 城 太 郎  
（団体又は法人にあつては、名称及び代表者名）  
電話番号 022（211）2846  
FAX番号 022（211）2849

みやぎの環境にやさしい農産物認証・表示要領第8第1項の規定により、認証票を下記のとおり作成したいので申し込みます。

記

認証登録番号 又は とう精登録番号 (登録年月日)	認証区分番号	認証票規格				備考
		大	中	小	計	
○認△△△ (RO. 10. 10)	④	0 枚	50 枚	0 枚	50 枚	
( . . )						
計						

認証登録番号を記入してください。

認証票の枚数を記入してください。

(注) 認証区分番号の欄は、次の農産物の番号①～④のいずれかを記入すること。

- ①農薬・化学肥料不使用栽培農産物
- ②農薬不使用・化学肥料節減栽培農産物
- ③農薬節減・化学肥料不使用栽培農産物
- ④農薬・化学肥料節減栽培農産物

## みやぎの環境にやさしい農産物実績報告書

○年 ○月 ○日

宮城県知事 村井 嘉浩 殿

〒 980 - 8570  
認証（とう精）登録者 住 所 仙台市青葉区本町3丁目8-1  
(団体又は法人にあつては、代表者等の所在地)  
ふりがな みやぎ たろう  
氏 名 宮 城 太 郎  
(団体又は法人にあつては、名称及び代表者名)  
電話番号 022 (211) 2846  
FAX番号 022 (211) 2849

○年 ○月 ○日付け○○第△△△号で認証（とう精）登録された農産物について、みやぎの環境にやさしい農産物認証・表示要綱第19の規定により、実績を報告します。

実績報告書は、栽培終了後（認証農産物の出荷販売終了後）に速やかに提出してください。  
とう精の場合は、精米販売終了後、速やかに提出してください。

（注）栽培記録（別記様式第3号）、出荷・販売記録（別記様式第4号）及びとう精記録（別記様式第8号）のうち該当する書類を添付すること。